

□主な内容

【EST創発セミナー開催のご案内】

交通エコモ財団、EST普及推進委員会、各地方運輸局等はEST創発セミナーを広島、那覇、北九州、仙台で開催します。皆様のご参加を期待しております。

【地域公共交通活性化に向けたニュース/トピック】

国土交通省は、地域公共交通活性化に向け、地域公共交通活性化・再生総合事業の認定、地方鉄道活性化支援相談窓口の設置、事例集の公開などをおこないました。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 24 回)

- 「EST を念頭に置いた交通環境学習の推進にむけて」

【環境カウンセラー 浅野智恵美】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 24 回)

- 「『自然環境にやさしい交通体系の整備実現』を目指して」

【静岡市都市局都市計画部参与兼交通政策課長 松本昌作】

3. ニュース/トピック

- 21都市が「エコまちづくり」により先導的な都市環境対策に取り組めます【国土交通省】
- 平成20年度「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」等の公募結果について【国土交通省】
- 各地方運輸局における「地方鉄道活性化支援相談窓口」の設置について【国土交通省】
- 「地域公共交通の活性化・再生への事例集」のホームページ公開について【国土交通省】
- 参加型ホームページ「鉄男・鉄子、みなさんの部屋」の開設について【国土交通省】
- ひとまち環境にやさしい公共交通の実現に向けて【仙台市】
- CO2 抑制へ乗用車規制 市内乗り入れ課金実験【名古屋市】
- 都バスへのバイオディーゼル燃料導入事業の実施について ～平成 19 年度の実施結果(中間報告)～【東京都交通局】
- 新宿線東大島駅で「霧吹き冷却」を行います【東京都交通局】
- 東京駅における環境への取組について【東日本旅客鉄道】

●神奈川県と警察業務での電気自動車「i MiEV」実証走行試験を実施【三菱自動車】

●平成 19 年度「省エネコンテスト」受賞者の決定について【省エネルギーセンター】

4. イベント情報

●中国 EST 創発セミナー ～環境にやさしく、まちを元気にする公共交通利用促進～

【2008/9/11】

●沖縄 EST 創発セミナー ～クルマに頼り過ぎない、公共交通や自転車・徒歩などまちなどこへでも快適に移動できるまちづくりにむけて～【2008/9/22】

●九州 EST 創発セミナー ～地球温暖化、まちづくり、環境的に持続可能な交通～

【2008/9/30】

●東北 EST 創発セミナー ～環境にやさしく、地域経済・社会を支える交通とは～

【2008/11/4】

●低炭素型交通システムとコンパクトシティ ー富山市におけるLRTを活かしたコンパクトなまちづくり【2008/8/7】

●第7回中部地区路面電車オープンサミット in 関【2008/8/23,24】

5. その他

●記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 24 回)

●「EST を念頭に置いた交通環境学習の推進にむけて」

【環境カウンセラー 浅野智恵美】

先日、ストップ温暖化教室の担当として、豊田市立大沼小学校にデザインが大好きな「とよたおいでんバス」で出かけました。県立高校を過ぎてから、乗客は私一人。心配した若い運転手さんが声を掛けて下さいました。しかるに「毎朝ここからは、空気を乗せて CO2 を吐き出しています。一生懸命働いていますが、虚しさを感じます。郊外の男性高齢者は、自分で車を運転することが元気の証拠と考え、なかなかバスを利用してもらえません。高校生も卒業した途端にカッコいい車でバスを追い抜いていきます。バスは 1 台約 3,000 万円。償却時に利用率が低ければ、ダイヤ削減どころか路線廃止もありえるのに」と吐露されました。

公共交通の充実を望むのであれば、それを支える覚悟が市民に必要です。バス路線の増便を切望したのに、車内に「乗客 1 人」が常態化しては、莫大な予算による英断が失敗に終わります。交通ビジョンの推進には、市民の意識変革が必要不可欠です。私は、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会の消費生活研究所で研究員をしています。昨年に続き、環境と交通をテーマに論文をまとめました。当初のタイトルは「低炭素社会に向けて環境 ITS と EST の目指すもの～消費者の視点から～」としていました

が、全国の会員の殆どは EST や ITS を熟知していないとの助言を受け、タイトルから略語をはずしました。

EST の実現には市民の積極的な関与はもとより、目標達成に全力を尽くし、もし達成できない場合は責任を明確にするコミットメントが行政側に必要です。成功にかかるコストは、失敗のために払う犠牲よりも少ないといわれています。政策目標が入り口とすれば、実効性は出口にあたります。運輸エネルギーの次世代化が叫ばれる今、EST はバックキャストによる長期ビジョンであるがゆえに、運転免許を持たない 18 歳未満のこどもたちも、ターゲットとして含む時代になったと考えます。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 24 回)

●「『自然環境にやさしい交通体系の整備実現』を目指して」

【静岡市都市局都市計画部参与兼交通政策課長 松本昌作】

近年、ひとり一人のモビリティ(移動)を過度な自動車利用から、公共交通などを適切に利用する方向に自発的に変化することを促す、「モビリティ・マネジメント」の重要性が叫ばれています。

本市では、平成15年度よりオムニバスタウン計画で、次の世代を担う子供たちに対して、教育を通じてバスが持つ公共交通機関としての社会的意義を理解してもらう「教育的施策」に取り組んでおり、静岡市ESTモデル事業の施策の一つにも位置づけています。

昨年度は、小学生とその保護者を対象に交通環境講座「親子でバスはかせ」を開催し、バス事業者協力のもと車椅子やICカードによる乗車体験、営業所の整備工場などの見学を行いました(今年度も8月5日に開催予定)。

この講座の特徴としては、公共交通としてのバスの必要性や大切さを「親子」で実感できることです。参加者からは、「バスを活用してもらうために、いろんな工夫がされていることを知り、なるべくバスを活用してみようと思いました。」や「バスに乗るということは、環境を守ることに繋がるのだとわかり、これからバスに乗ろうと思いました。」などの感想が寄せられ、公共交通の果たす役割や環境保全の重要性などについて認識してもらう事が出来たと考えています。今後もこのような講座を継続していくことで、「自然環境にやさしい交通体系の整備実現」を目指していきたいと考えています。

3. ニュース／トピック

●21都市が「エコまちづくり」により先導的な都市環境対策に取り組めます【国土交通省】

国土交通省では、本年度、都市政策として集約拠点等において、都市交通分野・緑化分野・エネルギー分野などの各種先導的な都市環境対策を推進するために「エコまちづくりパッケージ(先導的都市環境形成総合支援事業)」を創設しました。この中で、公民協働で包括的に取り組む場合に、その計画策定、関係者間のコーディネートや社会実験・実証実験等の実施を支援する「エコまちづくり事業(先導的都市環境形成促進事業)」を創設

したところです。今般、都市環境対策に積極的に取り組む13都府県21都市に対し、要望に基づき、エコまちづくり事業に係る予算を配分することとしました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city08_hh_000002.html

●平成20年度「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」等の公募結果について【国土交通省】

地域公共交通の活性化・再生に主体的に取り組む地域を支援することを目的として、平成20年度に新設された、『地域公共交通活性化・再生総合事業』を活用するために必要な、「地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画」及び「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」の第二次公募を行い、各運輸局において認定をしました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000003.html

●各地方運輸局における「地方鉄道活性化支援相談窓口」の設置について【国土交通省】

地方鉄道の活性化については、先の通常国会で成立した「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」により、支援メニューの充実強化を図ってきたところです。今後は、これらの支援メニューが各地の実情に合わせて、効果的に活用されることが重要な課題となっております。このため、地方鉄道の活性化に取り組もうとする事業者や地方自治体の関係者に対してノウハウなどの面での支援を行うことになりました。このような観点から、「地方鉄道活性化支援相談窓口」を設置して、各地の実情に通じた経験豊かなスタッフにより、幅広い情報提供や助言等を一元的に行う体制をとることとしました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo06_hh_000006.html

●「地域公共交通の活性化・再生への事例集」のホームページ公開について【国土交通省】

国土交通省総合政策局交通計画課では、平成19年度に市町村・利用者・住民・商業施設・事業所・病院・学校等地域の関係者・交通事業者などの多様な主体が、地域公共交通の活性化・再生に取り組むにあたって必要となるノウハウ・情報等を調査し、報告書に取りまとめました。その一環として、全国のさまざまな取組みを集めた事例集を作成し、ホームページにて公開いたしましたので、お知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000004.html

●参加型ホームページ「鉄男・鉄子、みなさんの部屋」の開設について【国土交通省】

6月19日、交通政策審議会・鉄道部会から、鉄道を身近に感じて頂くためのホームページを国土交通省において開設するよう、提言を頂きました。鉄道の良さを知り尽くし、鉄道を愛して下さっている日本中の「鉄男」「鉄子」さん、そして、広く日本中のみなさんが、鉄道を語り、鉄道をもっと身近に感じて頂けるよう、どなたでも気軽に訪れて頂けるホームページを

作りました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000013.html

●ひとまち環境にやさしい公共交通の実現に向けて【仙台市】

仙台市では、アクセス30分構想を実現させるために、国・宮城県・JR東日本や宮城交通(株)など交通事業者等の協力を得ながら、各種事業を実施しています。これらの関係者間の協議・調整をしていくために「公共交通利用促進協議会」を設置します。また、個別の課題に対しての具体的な対策を協議するために、モビリティ・マネジメント分科会・パークアンドライド分科会・時差通勤分科会・公共交通利用促進分科会を設置します。

<http://www.city.sendai.jp/toshi/koutsukikaku/kyogikai/index.html>

●CO2抑制へ乗用車規制 市内乗り入れ課金実験【名古屋市】

名古屋市は平成20年10月、名古屋大学や民間企業と連携して市内への乗用車の乗り入れ規制の実験を始めます。市内中心部の規制区域に入る際に500円前後を課金し、地下鉄など公共交通機関の利用を促す構想で、マイカー通勤者の協力を募ります。二酸化炭素(CO2)などの排出量を削減するのが狙いで、海外で広がっている車両乗り入れ規制の試みは国内では初めてとなります。

http://www.trans.civil.nagoya-u.ac.jp/_src/sc810/PDS.swf

●都バスへのバイオディーゼル燃料導入事業の実施について ～平成19年度の実施結果(中間報告)～【東京都交通局】

東京都は、地球温暖化対策の一環として、平成19年10月から平成21年3月まで、新宿車庫及び練馬車庫の都バス計65台にバイオディーゼル燃料を導入しています。これは、再生可能エネルギーの普及促進に向けて、都バスの営業運行を通じ、バイオディーゼル燃料の効果検証を行うものです。このたび、平成19年度の実施結果(中間報告)が公表されました。

http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/newsevent/news/bus/2008/bus_p_200807231_h.html

●新宿線東大島駅で「霧吹き冷却」を行います【東京都交通局】

東京都交通局は、お客様により快適に駅を利用していただくため、昨年に引き続き、新宿線東大島駅において霧吹き冷却を行います。触れても濡れた感じがせず、エアコンに比べて消費電力も少ない、“人にも環境にもやさしい暑さ対策”です。

http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/newsevent/news/subway/2008/sub_p_200807112_h.html

●東京駅における環境への取組について【東日本旅客鉄道】

東日本旅客鉄道は、「グループ経営ビジョン2020－挑む－」において、地球環境問題への積極的かつ長期的な取り組みのうち、特に地球温暖化防止のために、鉄道事業のCO2排出量を2030年度までに50%削減(1990年度比)する目標を設定しています。その目標の実現へ向けた具体的な取り組みとして、東京駅の一部ホームの屋根へ太陽光発電パネルを導入します。導入後の実績評価や、今後の太陽光パネルの技術開発動向をにらみつつ、他ホームへの拡大を検討していきます。東京駅ではこの他、八重洲・丸の内の駅前広場整備について、緑化や舗装材の工夫などによる環境対策を検討しています。

<http://www.jreast.co.jp/press/2008/20080702.pdf>

●神奈川県と警察業務での電気自動車「i MiEV」実証走行試験を実施【三菱自動車】

三菱自動車は、市販化に向け開発中の電気自動車「i MiEV*1(アイミーブ)」に関して、全国自治体初の試みとして、神奈川県と警察業務における実証走行試験を実施します。この実証試験では、東京電力株式会社が開発した急速充電器を活用しながら警察業務車両としての試験を実施するものです。

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/publish/mmc/pressrelease/news/detail1802.html>

●平成19年度「省エネコンテスト」受賞者の決定について【省エネルギーセンター】

(財)省エネルギーセンターでは、資源エネルギー庁の委託を受け、平成19年度「省エネコンテスト」を実施し、その受賞者が決定しました。受賞者の中には、「ゼロエミッション・ソーラースクーター」を考案し、地方都市の自動車使用によるCO2の削減を目指したものなどがありました。

<http://www.eccj.or.jp/pressrelease/080624.html>

4. イベント情報

●中国 EST 創発セミナー ～環境にやさしく、まちを元気にする公共交通利用促進～

日時:2008年9月11日(木) 13:30～16:30

場所:メルパルク広島6階「平成3」

主催:交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会、中国運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu4.html>

●沖縄 EST創発セミナー ～クルマに頼り過ぎない、公共交通や自転車・徒歩などまちなどこへでも快適に移動できるまちづくりにむけて～

日時:2008年9月22日(月) 13:30～16:55

場所:那覇市ぶんかテンブス館4階「テンブスホール」

主催:交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会、内閣府沖縄総合事務局、那覇市

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu5.html>

●九州 EST創発セミナー ～地球温暖化、まちづくり、環境的に持続可能な交通～

日時:2008年9月30日(火) 13:30～16:30

場所:北九州国際会議場2階「国際会議室」

主催:交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会、九州運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu6.html>

●東北 EST創発セミナー ～環境にやさしく、地域経済・社会を支える交通とは～

日時:2008年11月4日(火) 13:30～16:30

場所:仙台サンプラザ1階「パール」

主催:交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会、東北運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu7.html>

●低炭素型交通システムとコンパクトシティ ―富山市におけるLRTを活かしたコンパクトなまちづくり

日時:2008年8月7日(木) 18:30～20:30

場所:ノルドスペース セミナールーム

主催:特定非営利活動法人 循環型社会研究会

http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_08267.html

●第7回中部地区路面電車オープンサミット in 関

日時:2008年8月23日(土)、24(日)

場所:わかさプラザ 学習情報館 多目的ホール

主催:関に電車を望む会

<http://minomachisen-rp.dreamblog.jp/>

5. その他

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomor.jp(担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>